

あわじかちくいちば
淡路家畜市場

所在地：淡路市 塩田新島



淡路家畜市場でのセリ 出典：JAあわじ島HP

淡路島は、近畿圏における生乳及び肉用牛の主要生産地帯として位置づけられ、年間約7000頭の子牛を生産する一大生産地となっています。

淡路牛は、国産牛としての古い歴史があり、鎌倉時代末期に書かれた牛の図説「国牛十図」に、筑紫牛、御厨牛につづいて登場しています。

淡路家畜市場で毎月開催される子牛のセリ市では、子牛たちが全国有名ブランドビーフ（神戸ビーフ、松阪肉、近江肉等）の産地へ嫁いでいきます。また、近年は、島内で食肉としても提供し、淡路牛のブランド化を図る取り組みも進められています。

- 【景観の特徴】
- 自然が作りだす景観
 - 歴史が作りだす景観
 - ✓ 生活・文化が作りだす景観
 - 新しく作りだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道津名一宮IC下車。県道88号線を東に進み、国道28号線を南下。車で約10分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

いんじょうじさんもん 引撮寺山門

所在地：淡路市 志筑



引撮寺 山門

淡路島の社寺仏閣は、阪神淡路大震災で大きな被害を受けました。淡路四国八十八ヶ所の第 67 番である高野山真言宗、引撮寺もそのうちの 1 つです。

復興に向けて、地域のシンボルである社寺仏閣は、早い段階から復旧に取り組みられました。特に、引撮寺では、なるべく従来の資材を使用することを前提に復旧が進められ、山門などの復元がおこなわれました。

復元された引撮寺山門を望むと、阪神淡路大震災から力強く立ち直られてきた経緯と、社寺仏閣が地域のシンボルとして守り育ててきた歴史を感じることができます。

- 【景観の特徴】
- 自然がつくりだす景観
 - ✓ 歴史がつくりだす景観
 - ✓ 生活・文化がつくりだす景観
 - 新しくつくりだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道津名一宮 IC 下車、県道 66 号線、県道 88 号線を東に進む。車で約 10 分。



地図出典：国土地理院発行 2万 5千分の 1 地形図

しづきうら
志筑浦

所在地：淡路市 志筑



現在の志筑港 出典：兵庫県立歴史博物館HP



志筑浦 出典：淡路国名所図絵

志筑浦は、大阪方面への便が良いため昔から栄えた港です。浦の様子は「淡路国名所図絵」にも描かれており、「最も繁花の浜なり」、「当浦より浪花へ日毎に渡海の通船ありて」と記されるほど、大坂方面へ定期便が通っていたほど繁昌した港の様子が伺えます。風に恵まれれば、6時間程度で大阪に着いていたようです。現在も、志筑港は、物流の拠点としての役割を担っています。

志筑の名の由来には、名産の塩辛に因む説、月神を祀ったことに因む説など諸説あり、菅原道真が筑紫への途上立ち寄ったため、「筑紫を志す = 志筑」となったとも言われています。

- 【景観の特徴】
- 自然が作りだす景観
 - ✓ 歴史が作りだす景観
 - ✓ 生活・文化が作りだす景観
 - 新しく作りだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道津名一宮 IC 下車。県道 88 号線を東に進み、国道 28 号線を北上。車で約 10 分。



地図出典：国土地理院発行 2万5千分の1地形図

なかだちく でんえんけいかん
中田地区の田園景観

所在地：淡路市 中田



中田地区の農の景観

旧津名町にある中田地区には、盆地状の地形を利用した平坦な農地が広がっています。土地が限られているため、傾斜を利用した棚田が点在している淡路島北部においては、珍しい農の景観を望むことができます。

中田地区では、刈り取った稲を天日干しにする農家が少なくなったなかでも、天日干しの「掛け稲」が棚田を覆い尽くす様子は懐かしい農村の景観が残っていることが評価され、兵庫県「私の好きな兵庫の風景 100 選」にも選ばれています。

- 【景観の特徴】
- 自然がつくりだす景観
 - 歴史がつくりだす景観
 - ✓ 生活・文化がつくりだす景観
 - 新しくつくりだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道津名一宮 IC から県道 66 号線へ、約 1 km を右折。車で約 10 分。



地図出典：国土地理院発行 2万5千分の1地形図

ながさわちく たなだ
長澤地区の棚田

所在地：淡路市 長澤



長澤地区の棚田



棚田



棚田脇のコスモス畑



川沿いの水車小屋

淡路島北部には、限られた土地と傾斜を利用した棚田が点在しています。また、淡路島には水不足を解決するため、ため池も多くつくられてきました。棚田とため池、播磨灘が一体となった景観は、淡路島を代表する景観であるとともに、淡路島の風土と先人の苦労を偲ばせます。

島内の棚田のなかでも、長澤地区には美しい棚田の景観が広がっています。谷を流れる川沿いには、昔棚田へ水を汲み上げていた水車小屋などもあり、昔ながらの農の景観を楽しむことができます。

また、長澤地区では、アーティストが廃校を利用した芸術拠点「ノマド村」や野菜市、カフェを運営するなど、新しい取り組みも始まっています。

- 【景観の特徴】
- 自然がつくりだす景観
 - 歴史がつくりだす景観
 - ✓ 生活・文化がつくりだす景観
 - 新しくつくりだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道北淡 IC から、県道 31 号線、県道 463 号線へ。車で 30 分。



地図出典：国土地理院発行 2万5千分の1地形図

あんようじ あわじしまじゅんれい
安養寺 淡路島巡礼

所在地：淡路市 木曾下



「淡路島巡礼」淡路市 山本喜一氏撮影（第2回淡路島景観フォトコンテスト 応募作品）

淡路島では、毎年5月12日～14日にかけて多くの巡礼客が訪れご詠歌を唱えます。淡路西国三十三観音霊場第22番である安養寺も、巡礼の季節には巡礼客で賑わいます。

安養寺は高野山真言宗のお寺であり、寺伝によれば、1323年に淡路廃帝の命により、大伽藍や坊が建ち並んでいたと伝えられています。室町時代の古文書に、舞楽が奉納されていたことが記されており当時の様子が伺えますが、現在は本堂だけが残っています。

また、先山千光寺と同様、「播州の獵師が矢のささった大猪を追いかけてやってきたところ、この地で胸に矢のささった千手観音像をみつけ、以後仏門にはいり寺を建立した」という伝承があり、先山千光寺の観音像と同じ木で本尊がつくられていると伝わっています。

- 【景観の特徴】
- 自然がつくりだす景観
 - ✓ 歴史がつくりだす景観
 - 生活・文化がつくりだす景観
 - 新しくつくりだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道津名一宮ICから、県道66号線を西へ、車で約30分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

いわやぎょこう ぎょそんしゅうらく 岩屋漁港と漁村集落

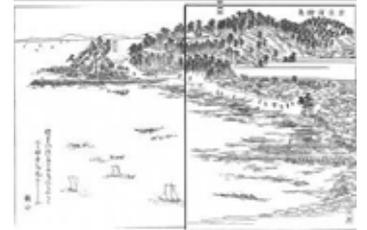
所在地：淡路市 岩屋



岩屋漁港と明石海峡大橋



岩屋集落と茶間川



淡路國名所図絵「岩屋浦」



岩屋全景 提供：絵葉書資料館

岩屋港は、淡路島の北の玄関口として古くから栄えた港で、現在も高速船の発着場所として島内交通の拠点となっています。また、桜ダイやタコ、イカナゴなど淡路島を代表する海産物が多く水揚げされる島内有数の漁港でもあります。

漁村集落として発達してきた岩屋の面影は、路地に家屋が密集している町並みや、浜（航海安全、大漁祈願の神として信仰されている住吉神社を中心とした漁師組織）毎で異なる漁法と漁具などから感じることができます。

現在も、集落を流れる茶間川での昆布の陰干しや露天商など、生業と生活が一体となった豊かな景観を感じることができます。

- 【景観の特徴】
- 自然がつくりだす景観
 - 歴史がつくりだす景観
 - ✓ 生活・文化がつくりだす景観
 - 新しくつくりだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道淡路ICから、国道28号北上、車で10分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

えびすじんじゃ 恵比須神社

所在地：淡路市 岩屋



恵比寿神社



岩楠神社



鳥居横の石碑

恵比須神社は、淡路島北端の岩屋港の前にある神社です。御祭神として、蛭子命（エビスノミコト）と事代主命（コトシロヌシノミコト）の二柱が祭られています。

蛭子命（エビスノミコト）は、国生み神話とも関係が深く、伊弉諾尊（イザナギノミコト）と伊弉冉尊（イザナミノミコト）の間に最初にできた子どもでもあります。境内奥には、国生み神話伝承地として伝えられる岩楠神社もあります。また、恵比須神社には、西宮えびすの本家であるとの説も伝えられています。

歴史を感じられる景観だけでなく、毎年1月10日に催される十日戎には、多く島民が集い島内一の賑わいをみせてくれます。

- 【景観の特徴】
- 自然がつくりだす景観
 - ✓ 歴史がつくりだす景観
 - ✓ 生活・文化がつくりだす景観
 - 新しくつくりだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道淡路IC下車、国道28号に入り岩屋ポートビル（明石行き高速艇乗り場）方面に北上、車で約5分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

ひょうごけんりつ

いし ね やりよくち

兵庫県立あわじ石の寝屋緑地

所在地：淡路市 岩屋



兵庫県立あわじ石の寝屋緑地計画区域 出典：兵庫県HP

あわじ石の寝屋緑地は、淡路島北部に位置する都市計画緑地として整備を進めています。

計画区域は、大部分が山林に覆われ、阪神地域や明石海峡大橋から山腹が眺望でき、一部は景勝地となっています。また、区域の北側から西側にかけては瀬戸内海国立公園に隣接しています。

県はあわじ石の寝屋緑地の整備を通じて、豊かな自然環境を保全するとともに、人が自然と触れ合うことのできる活動の場として、環境の保全と創造に寄与すること、地域の活性化に役立つことなどを目的としています。

- 【景観の特徴】
- ✓ 自然が作りだす景観
 - 歴史が作りだす景観
 - 生活・文化が作りだす景観
 - ✓ 新しく作りだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道淡路ICから国道28号へ、車で約5分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

かいきょうさんかんのんじ かいきょうじ
開鏡山観音寺（開鏡寺）

所在地：淡路市 岩屋



開鏡山観音寺本堂 出典：一般社団法人淡路島観光協会HP

開鏡寺は、西国三十三ヶ所霊場の打ち納め札所で、本尊は約1200年前に創られたものであると言われています。毎年1月第3日曜日に行われる祭礼「湯立て神楽」が有名で、行者が熱湯にひたした笹を振り、そのしぶきを浴びると無病息災に暮らせると言い伝えられています。笹は、家に持ち帰り門に飾って一年の無事を祈ります。「湯立て神楽」は、400年以上の歴史があると伝えられ、毎年多くの参拝客で賑わいます。

開鏡寺周辺は、藩政時代から牛馬の放牧が盛んで、源頼朝が佐々木四郎高綱に与えた名馬「生月」の碑があります。開鏡寺周辺で生まれた「生月」に乗り、高綱は、源平の宇治川合戦に一番乗りしました。明治維新後もその伝統を受け継ぎ、軍馬を産出していました。

- 【景観の特徴】
- 自然が作りだす景観
 - ✓ 歴史が作りだす景観
 - 生活・文化が作りだす景観
 - 新しく作りだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道淡路IC下車、県道155号線を西に進み、車で約10分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

ほくだんえさきこうえん
北淡江崎公園

所在地：淡路市 野島江崎



江崎灯台のモニュメントと明石海峡大橋

北淡江崎公園は、淡路島の西海岸を走る県道 31 号線（通称淡路サンセットライン）沿いに無料駐車スペース「緑の道しるべ」として整備せられました。

北淡江崎公園には、江崎灯台のモニュメントがあり、そこから眺める明石海峡大橋は絶景です。また、公園からは、江崎灯台に続く石積みの階段が続いています。

- 【景観の特徴】
- 自然が作り出す景観
 - 歴史が作り出す景観
 - 生活・文化が作り出す景観
 - ✓ 新しく作り出す景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道淡路 IC から、県道 31 号線を北上。車で 10 分。



地図出典：国土地理院発行 2万5千分の1地形図

きふねじんじゃ 貴船神社

所在地：淡路市 野島平林



貴船神社と緑の道しるべ

貴船神社の手前に位置する「貴船神社遺跡」は、弥生時代から古代にかけての製塩跡とされ、兵庫県では初めて石敷炉が発見された貴重な遺跡です。

万葉集に「朝風に 楫の音聞こゆ 御食つ国 野島の海人の 船にしあるらし」と詠われた「野島の海人」はこの地で製塩を行っていたと考えられています。

貴船神社遺跡は、無料駐車スペースである「緑の道しるべ」として整備され、製塩作業をする海人のモニュメントや解説板などが置かれ、当時の生活を垣間見ることができます。

- 【景観の特徴】
- 自然がつくりだす景観
 - ✓ 歴史がつくりだす景観
 - 生活・文化がつくりだす景観
 - 新しくつくりだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道淡路 IC から県道 31 号線を北上。車で約 20 分。



地図出典：国土地理院発行 2万5千分の1地形図

いけ ふうけい たなはらおおいけ
 ため池の風景 棚原大池

所在地：淡路市 舟木



『「ため池さん」来年も頼んましょ』兵庫県神戸市 東良敬博氏撮影 (第1回淡路島景観フォトコンテスト 応募作品)

淡路島は、流域の広い河川がなく、農業用水を確保が期待できないため、数多くをため池をつくってきました。現在も、島内に約2万5千箇所もあるため池は、周辺の田畑とともに淡路島らしい農の景観をつくりだしています。

棚原大池をはじめ、島内各所にあるため池では、維持管理の一環として稲刈り後の秋から冬にかけてため池の水と泥を抜く「かいぼり」が行われています。「かいぼり」を行う地域も少なくなってきましたが、栄養分が海へ流れ込み豊漁につながるため、漁業関係者とともに「かいぼり」を復活させた地域もあります。

- 【景観の特徴】
- 自然がつくりだす景観
 - 歴史がつくりだす景観
 - ✓ 生活・文化がつくりだす景観
 - 新しくつくりだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道淡路ICから国道28号へ、車で約5分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

仁井地区の田園景観

所在地：淡路市 仁井



仁井地区の田園景観

淡路島は、温暖な瀬戸内気候を活かし、古来より「御食国（みけつくに）」と呼ばれ朝廷に食物を謙譲していたほど、第1次産業が盛んな地域です。

仁井地区がある淡路島北部では、限られた土地利用のなか、起伏ある地形を活かした棚田や農業用水を確保するためのため池など、風土に適した営みを育んできました。

仁井地区では、現在も地域の方により田園が大切に守り育てられ、淡路瓦で葺かれた家屋や播磨灘と一体となった淡路島北部独特の「農」の景観が広がっています。

- 【景観の特徴】
- 自然がつくりだす景観
 - 歴史がつくりだす景観
 - ✓ 生活・文化がつくりだす景観
 - 新しくつくりだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道東浦ICから県道460号線、国道28号、県道71号線へ。車で約20分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

くろだにちく たなだ はりまなだ
黒谷地区の棚田からみる播磨灘



所在地：淡路市 黒谷



黒谷地区の棚田からみる播磨灘

黒谷地区は、淡路島北部の標高 515m の常隆寺山から播磨灘に向かう西向きの片斜面上に位置しています。黒田地区からは、落葉樹の森を背に棚田と小規模ため池が連なり、遙か先には瀬戸内海に浮かぶ大小の島々が眺められる特徴的な景観を目にすることができます。

耕作放棄地の増加など、島内の棚田を取り巻く環境や景観は著しく変化していますが、黒田地区は、地域住民の営みにより美しい棚田が維持されています。黒田地区の美しい景観を守り育てるため、環境省「モニタリングサイト 1000 里地調査」の対象地として、特定非営利活動法人アルファグリーンネットが中心になり、植物相や鳥類のモニタリングを実施しています。

- 【景観の特徴】
- ✓ 自然がつくりだす景観
 - 歴史がつくりだす景観
 - ✓ 生活・文化がつくりだす景観
 - 新しくつくりだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道北淡 IC から県道 123 号線から
 県道 463 号線へ、車で約 15 分。



地図出典：国土地理院発行 2万5千分の1地形図

らんやま なが むろづこう
 羅漢山から眺める室津港

所在地：淡路市 室津



羅漢山（神戸淡路鳴門自動車道側道）から望む室津港と播磨灘

淡路島は、「御食国（みけつくに）」と呼ばれ朝廷へ水、農作物、魚介類などを献上していたほど、古来より第1次産業が盛んな地域でした。室津漁港は、西浦北部に位置し淡路島の漁業の1拠点として、底引き網漁と海苔養殖がおこなわれています。

室津地区には、「羅漢の山に朝日生え・・・」と室津小学校の校歌にうたわれ、地域に親しまれている羅漢山という山があります。この羅漢山から望む室津港の景観は、播磨灘の豊かな自然環境のなか、「御食国（みけつくに）」とうたわれるほど栄えた漁業と人の営みを感じることができます。

- 【景観の特徴】
- ✓ 自然が作りだす景観
 - ✓ 歴史が作りだす景観
 - ✓ 生活・文化が作りだす景観
 - ✓ 新しく作りだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道北淡ICから県道123号線から県道31号線を左折。車で約10分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

おさきちく かいすいよくじょう
尾崎地区の海水浴場

所在地：淡路市 尾崎、多賀ほか



尾崎海水浴場 出典：一般社団法人淡路島観光協会HP



多賀の浜海水浴場
出典：一般社団法人淡路島観光協会HP



江井地区での潮干狩り
出典：成錦堂

阪神圏からの日帰り観光地として、淡路島へ多くの観光客が訪れ始めたのは大正中頃からです。神戸、大阪からの直行船便が運行されるなど、夏季には海水浴を楽しみに多くの観光客が訪れました。

現在も島内に数多くの海水浴場が点在し、西海岸の尾崎海水浴場と多賀の浜海水浴場は、代表的な海水浴場として毎年多くの観光客が訪れています。

両海水浴場とも、キャンプ場、トイレやシャワーなどの設備も充実しており、快適なレクリエーションの場を提供しており、播磨灘に面した豊かな自然環境のなか、存分に海水浴を楽しむことができます。

- 【景観の特徴】
- ✓ 自然が作りだす景観
 - 歴史が作りだす景観
 - 生活・文化が作りだす景観
 - ✓ 新しく作りだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道津名一宮ICより県道88号線を經由、県道31号線沿いに点在。車で約30分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

かれきじんじゃ 枯木神社

所在地：淡路市 尾崎



枯木神社



社殿



子宝石

枯木神社は、尾崎海水浴場から北へ約 700mの海岸沿いに鎮座している神社です。

日本書記によると、推古天皇 3 年(595 年)の夏に、ひと抱えもある香木が漂着し、島民がその木を焼くと良い香りが辺り一面に広がったとのこと。その香木は、朝廷に献上され、聖徳太子が観音像をつくる際の材料として利用したと伝えられています。

香木(沈香木)は、現在も枯木神社のご神体として、地域の方に大切に祀られています。

【景観の特徴】

- 自然が作りだす景観
- ✓ 歴史が作りだす景観
- 生活・文化が作りだす景観
- 新しく作りだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道津名一宮ICから県道 88 号線から県道 31 号線を右折。車で約 30 分。



地図出典：国土地理院発行 2万5千分の1地形図

ぐんげちく じゅうたく しんさいふっこう
郡家地区 コミュニティ住宅と震災復興モニュメント

所在地：淡路市 群家



倒壊した伊弉諾神宮の大鳥居を使った震災復興モニュメント



修復された伊弉諾神宮の大鳥居

旧一宮町では、阪神淡路大震災で全 3,100 世帯のうち 1,600 世帯が全半壊の被害を受けました。町内にある国生み神話の伝承地である伊弉諾神宮の大鳥居も倒壊しました。

旧一宮町のなかでも、郡家地区では被害が酷く、震災復興の整備が進められるなかで地区のまちづくり委員会などが中心となり、震災の記憶を後世に伝えるための記念碑として復興住宅の側に伊弉諾神宮の大鳥居を用いたモニュメントが立てられました。モニュメントは、復興した郡家地区を現在も静かに見守っています。

- 【景観の特徴】
- 自然が作りだす景観
 - 歴史が作りだす景観
 - 生活・文化が作りだす景観
 - ✓ 新しく作りだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道津名一宮 IC 下車、県道 88 号を北上。車で約 15 分。



地図出典：国土地理院発行 2万5千分の1地形図

やなぎさわ ちく たなだ
柳沢地区の棚田

所在地：淡路市 柳沢



柳沢地区の棚田 出典：淡路島 JA 淡路日の出 HP

淡路島北部には、限られた土地と傾斜を利用した棚田が点在しています。また、淡路島には水不足を解決するため、ため池も多くつくられてきました。棚田とため池、播磨灘が一体となった景観は、淡路島を代表する景観であるとともに、淡路島の風土と先人の苦労を偲ばせます。

旧一宮町にある柳沢地区の棚田一枚一枚は決して広くありませんが、牛舎、キク畑、水田、家屋がモザイク状にあることが特徴です。

淡路島でも、近年、農家の高齢化が進み、耕作放棄された棚田が目立つようになってきているなかでも、伝えていきたい貴重な景観です。

- 【景観の特徴】
- 自然がつくりだす景観
 - 歴史がつくりだす景観
 - ✓ 生活・文化がつくりだす景観
 - 新しくつくりだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道津名一宮 IC から、県道 88 号線へ、多賀交差点を左折。車で 10 分。



地図出典：国土地理院発行 2万5千分の1地形図

えいちく せんこう かお まちな 江井地区 線香の香る町並み

所在地：淡路市 江井



江井地区の町並み



地区内の線香づくりに携わる店舗



高見家住宅



中尾家住宅

江井地区の線香づくりは、嘉永年間（19世紀半ば）から始められ、現在では全国の約70%のシェアを占めるまでになっています。線香づくりに携わる作業場が多数並び、町中にお香の香りが生活の香りとして漂い、環境省の「かおり風景100選」にも選ばれています。

また、江井地区には、兵庫県景観形成重要建築物の指定を受けた、「高見家住宅」と「中尾家住宅」があります。両住宅とも、築200年近い木造2階建ての町家で、阪神淡路大震災をくぐり抜けて大切に維持され往時をしのばせる建築物です。

江井地区には、高見家住宅、中尾家住宅を中心に、線香づくりなどの地域の生業を感じることができる町並みが残っています。

- 【景観の特徴】
- 自然がつくりだす景観
 - ✓ 歴史がつくりだす景観
 - ✓ 生活・文化がつくりだす景観
 - 新しくつくりだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道津名一宮ICから、県道88号線を北上し、県道31号線を左折。車で20分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

みょうじんざき
明神崎

所在地：淡路市 明神



明神崎とイブキ群落



「耐力」 洲本市 三原浩氏撮影
(第1回淡路島景観フォトコンテスト応募作品)



西濱大明神

明神港は、古くから開け、海運業で栄えた良港でした。明神崎の岬には西濱大明神が祀られ、境内には県指定文化財として保存されているイブキ群落があります。

この群落にはイブキの他に、高木のウバメガシやクロマツ、低木のトベラ、モチノキやマサキ等、草本のハマナデシコ、ツワブキやコオニユリなどが自生しています。

明神崎のイブキは、海運業が栄えていたころに、船乗りが九州方面から持ち帰り植樹したと伝えられています。当時から、波風にさらされ表皮がはがれてしまっているイブキをみると、播磨灘に面する淡路島の厳しい自然を感じることができます。

- 【景観の特徴】
- ✓ 自然がつくりだす景観
 - 歴史がつくりだす景観
 - 生活・文化がつくりだす景観
 - 新しくつくりだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道津名一宮 IC 下車、県道 88 号を北上、群家交差点を左折し県道 31 号線に入り西へ進む。車で約 30 分。



地図出典：国土地理院発行 2万5千分の1地形図

やまだはちまんじんじゃ
山田八幡神社

つか
遣いだんじり

所在地：淡路市 山田乙



遣いだんじり 出典：一般社団法人淡路島観光協会HP

「遣いだんじり」とは、二人の乗り子を乗せただんじりを縦横無尽にひっくり返しながら練り、様々な妙技を披露するもので、淡路島の個性豊かな伝統芸能を伝える行事として知られています。

山田八幡神社では、毎年10月第二土曜日に宵宮、日曜日に本祭りが行われます。宵宮には、拍子木や太鼓の音に合わせて、約30名の若者がだんじりを軽々と宙にあげる「遣いだんじり」の他、獅子舞も披露されます。年によっては遣いだんじりがおこなわれない場合もあります。

また、本祭りでは、各地区から引きだんじりが登場し、鐘や太鼓の音に合せ、威勢のよいかけ声とともに練りこみがされます。

- 【景観の特徴】
- 自然がつくりだす景観
 - 歴史がつくりだす景観
 - ✓ 生活・文化がつくりだす景観
 - 新しくつくりだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道津名一宮IC下車、県道66号を南下、県道468号を西へ進む。車で約30分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

あわじしちふくじん
淡路七福神ちぜんじ
智禅寺

所在地：淡路市 草香



智禅寺大門 出典：一般社団法人淡路島観光協会HP

淡路島の風土のなか、七福神信仰は素朴で厚い信仰を集めてきました。

淡路七福神霊場の1つである智禅寺には、弁財天が祭られています。寺宝の大般若経には、1351年の銘があり歴史ある寺であると考えられています。

本尊に大日如来像を安置し、仏法有縁の修行道場として開かれた霊場には、地蔵菩薩像と御厨子が脇待として祭祀されています。また、本堂背後の丘陵にある法篋印塔の雨風に耐えわびしく佇む姿からも、智禅寺の歴史の奥行きが感じられます。

【景観の特徴】

自然がつくりだす景観

歴史がつくりだす景観

✓ 生活・文化がつくりだす景観

新しくつくりだす景観

【アクセス】

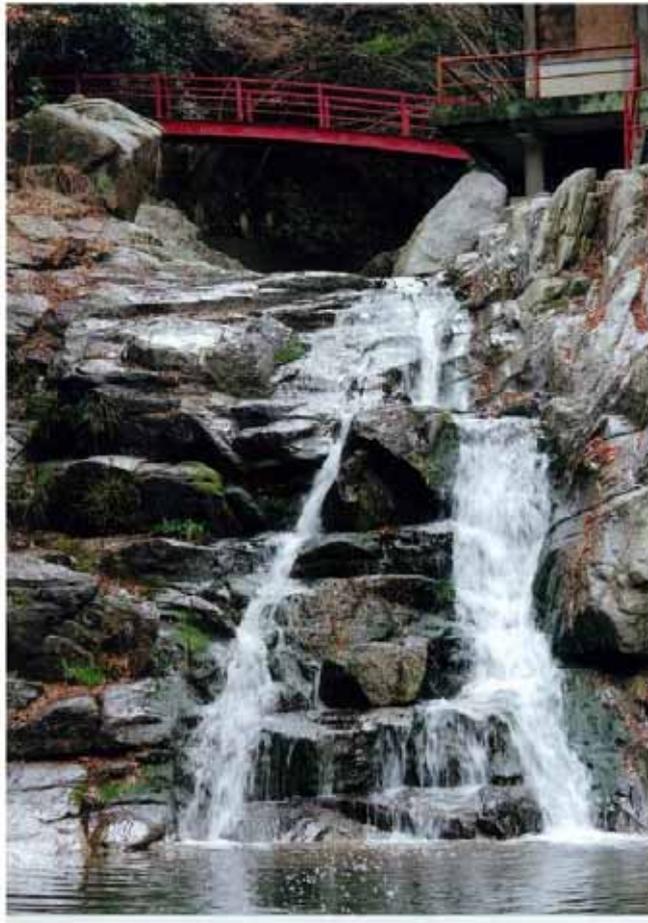
神戸淡路鳴門自動車道津名一宮IC下車、国道88号を北上、群家交差点を左折し県道31号線に入りしばらく進んだのち、県道468号に入る。車で約30分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

やまだちく めおとたき
山田地区の夫婦滝

所在地：淡路市 山田



「冬の夫婦滝」淡路市 石上康敬氏撮影 (第1回淡路島景観フォトコンテスト 応募作品)

山田地区の夫婦滝は、落差5mもある滝です。夫婦滝と呼ばれる由縁は、水の流が二つに分かれてから、再び一つの流れに戻るということからきています。

滝上流の岸に梵鐘やお不動さんを祀った社があり、別名「不動滝」とも呼ばれています。

夫婦滝を下流からは、滝上流にかかる赤い橋と夫婦滝が一体となった赴きのある景観を望むことができます。

- 【景観の特徴】
- ✓ 自然がつくりだす景観
 - 歴史がつくりだす景観
 - 生活・文化がつくりだす景観
 - 新しくつくりだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道津名一宮IC下車。県道66号線から、県道468号線、県道466号線へ。車で約30分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

くさ か はちまんじんじゃ
草香八幡神社つか
遣いだんじり

所在地：淡路市 草香



「つかい」兵庫県神戸市 西橋弘氏撮影（第1回淡路島景観フォトコンテスト 応募作品）

「遣いだんじり」とは、二人の乗り子を乗せただんじりを縦横無尽にひっくり返しながら練り、様々な妙技を披露するもので、淡路島の個性豊かな伝統芸能を伝える行事として知られています。

草香八幡神社では、毎年10月第1土曜日に宵宮、日曜日に本祭りが行われます。

宵宮では、珍しい遣いだんじりがだされます。「遣いだんじり」では、三人の乗り子がたたく太鼓の合図で、だんじりをぐるぐる回したり、地面すれすれに横倒しにしたり、妙技を練り広げられます。

本祭りでは、各地区から引きだんじりが登場し、威勢のよいかげ声とともに盛大な練りこみが披露されます。

- 【景観の特徴】
- 自然が作りだす景観
 - 歴史が作りだす景観
 - ✓ 生活・文化が作りだす景観
 - 新しく作りだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道津名一宮ICから県道88号線を北上、県道31号線を左折し、県道468号線を南下。車で約30分。



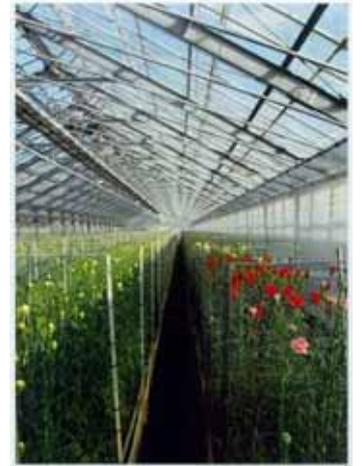
地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

おんしつだんち 温室団地

所在地：淡路市 釜口



「輝く温室」淡路市 山本喜一氏撮影
(第1回淡路島景観フォトコンテスト 審査員特別賞受賞作品)



「シンメトリー」洲本市 板東愛加氏撮影
(第1回淡路島景観フォトコンテスト応募作品)



温室団地

淡路市では、温暖な気候を利用した花卉栽培が盛んです。昭和7年(1932)に始められ、昭和30年(1955)に入るとガラス温室の導入など、技術革新にともない収穫量、品質が高まりました。現在は、釜口築を中心とした大規模な温室団地において、カーネーションを中心に県内シェアの90%を占めています。

温室暖地では、夏から秋にかけて害虫防除を目的に黄色蛍光灯を点灯します。暗闇に浮かび上がる温室団地の景観は、淡路島の地域に根ざした生業を感じさせます。

温室団地周辺では、切花の即売所も多数あり、最近ではカーネーションの抽出液をつかった染物や陶器などの関連商品の開発にも取り組まれています。

- 【景観の特徴】
- 自然がつくりだす景観
 - 歴史がつくりだす景観
 - ✓ 生活・文化がつくりだす景観
 - 新しくつくりだす景観

【アクセス】

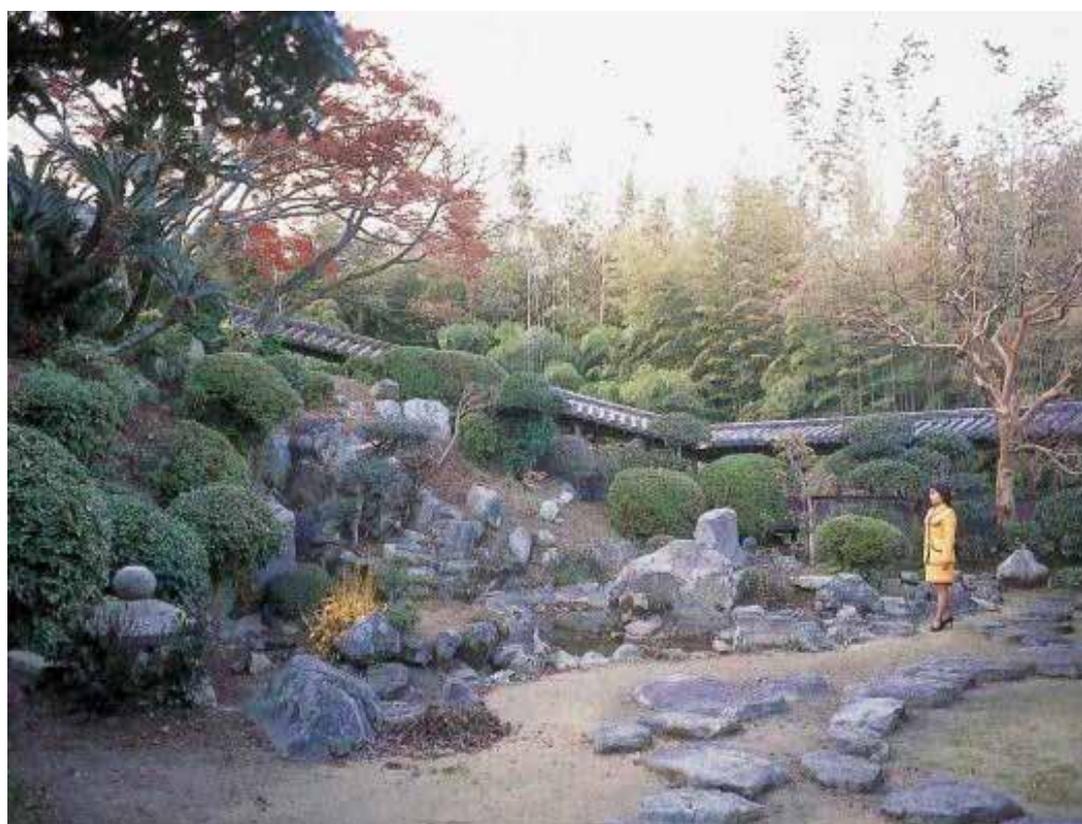
神戸淡路鳴門自動車道東浦 IC から、国道28号を北上、車で15分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

みょうしょうじ おお 妙勝寺と大クス

所在地：淡路市 釜口



蓬萊池泉式庭園 出典：財団法人淡路島くにうみ協会 HP



境内の大クス
出典：社団法人兵庫県治山林道協会 HP



淡路國名所図絵「妙勝寺」

妙勝寺は、足利尊氏に縁のある寺で、山腹にある境内から東浦を一望することができます。

建武3年（1336）、足利尊氏は、楠木正成と新田義貞に敗れて九州に落ち延びる途中、汐待ちをしていた船中から見た山腹の燈火の場所を尋ねたところ、「妙勝寺である。」との吉兆を喜び、太刀一振を寄進して必勝を祈願しました。後に、尊氏が天下人になったことから、歴代淡路藩主にも信仰され、現在もこの名にあやかりたいと多くの参拝者が訪れます。

境内では、県指定天然記念物に指定された樹齢600年のクスノキの雄大な姿や、県指定文化財に指定された江戸時代初期の蓬萊池泉式庭園などが見所です。

- 【景観の特徴】
- ✓ 自然がつくりだす景観
 - ✓ 歴史がつくりだす景観
 - 生活・文化がつくりだす景観
 - 新しくつくりだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道東浦ICから国道28号を南下。
車で約20分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

しょうぶくじ
勝福寺

所在地：淡路市 飯屋



勝福寺の茶庭

勝福寺には、茶室があります。茶室から眺める庭は、四季の移ろいを感じることができ、静寂のなか心が和みます。勝福寺は、それほど宗教的な面が強くないことも特徴のひとつです。

また、境内には、文楽軒の供養等があります。文楽軒とは、19世紀初頭に淡路島出身の植村文楽軒（正井与兵衛）が、大坂で旗揚げした人形浄瑠璃の一座です。これが現在の文楽につながっています。

- 【景観の特徴】
- 自然が作りだす景観
 - ✓ 歴史が作りだす景観
 - 生活・文化が作りだす景観
 - 新しく作りだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道東浦ICから県道460号線、国道28号へ、車で約15分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

ほんぷくじ じんこういけ 本福寺の人工池

所在地：淡路市 浦



周辺の景観にとけこむ水御堂



上空から望む水御堂
出典：一般社団法人淡路島観光協会HP



水蓮



水御堂へのアプローチ

本福寺は、京都の仁和寺の末寺で、平安時代後期に創建されたと伝えられる古刹です。

水御堂は、本福寺の新しい本堂で、日本を代表する建築家安藤忠雄氏の設計により建立されました。本堂は、約二千年前の古代ハスとして知られる大賀ハスや水蓮が咲く人工池の真下に、仏像が安置してあるというユニークな構造となっています。

本福寺の水御堂は、淡路島の古刹として、また、周辺の山並みや自然にとけこんだ新しい建築物として、周辺景観との調和が図られています。

- 【景観の特徴】
- 自然が作りだす景観
 - ✓ 歴史が作りだす景観
 - 生活・文化が作りだす景観
 - ✓ 新しく作りだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道東浦ICから県道31号線から、県道464号線へ。車で約20分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

しらやま ちく のこ かやぶき やね こみんか
 白山地区に残る茅葺屋根の古民家



所在地：淡路市 白山



「田植えの頃」南あわじ市 井上淳一氏撮影
 (第2回淡路島景観フォトコンテスト 応募作品)



田園と茅葺屋根の古民家



古民家の土塀

白山地区の小さな峠を越えた盆地状の地形に、淡路島では珍しくなった茅葺屋根の古民家が今も残っています。

古民家周辺の土地利用は、紀伊水道に位置し台風の影響を受けやすい淡路島において、四方を山に囲まれた環境を活かして風を避けるとともに、家の周りに川を回し水の利便を浴するなど、地の利が十分に活かされています。茅葺民家の建築年代は、阪神・淡路大震災の復旧工事の際に発見した天井板の墨書きから、天保頃から立て始められたと想定されています。

白山地区の古民家とその周辺は、淡路島の山間地域の昔ながらの景観を残す貴重な事例です。

- 【景観の特徴】
- 自然がつくりだす景観
 - 歴史がつくりだす景観
 - ✓ 生活・文化がつくりだす景観
 - 新しくつくりだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道東浦ICから、県道460号線を通り、浦川沿いを西へ。車で約15分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

あわじじゅうかんどう なが うら ち く
 淡路縦貫道から眺める浦地区

所在地：淡路市 夢舞台



「空と海と地と」兵庫県西脇市 徳岡千津子氏撮影（第1回淡路島景観フォトコンテスト 応募作品）

神戸淡路鳴門自動車道は全長 89.0 km、景勝・舞子の浜から明石海峡を渡り、淡路島を南下し、奇勝・うず潮で名高い鳴門海峡を渡るルートを含みます。明石海峡大橋が平成 10 年 4 月 5 日に完成し、島内縦貫道として重要な交通網となっています。

淡路 IC から東浦 IC に至るまでの車中からは、淡路島北部の起伏のある丘陵地と浦地区、大阪湾と明石海峡が一体となった景観を一望することができます。

- 【景観の特徴】 ✓ 自然がつくりだす景観
 歴史がつくりだす景観
 生活・文化がつくりだす景観
 新しくつくりだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道淡路 IC から東浦 IC まで。



地図出典：国土地理院発行 2万5千分の1地形図